

事前評価調書

I 事業概要																																																																			
事業名	道路事業（無電柱化事業）																																																																		
地区名	一般国道 248 号（豊田市豊栄町（その1）工区）																																																																		
事業箇所	豊田市豊栄町																																																																		
事業のあらまし	<p>一般国道 248 号は、豊田市の市街地を南北に縦断する防災上重要な路線であり、第 1 次緊急輸送道路に位置付けられており、電柱倒壊により車線が分断されることで、災害時の復旧等へ影響が出る事が考えられる。</p> <p>こうした背景から、本事業は電線共同溝を整備することにより、地域の防災性強化を図るものである。</p>																																																																		
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①地域の防災性強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>-</p>																																																																		
事業費	事業費			内訳																																																															
	11.8 億円			■工事費 11.3 億円、口用補費 億円、■その他 0.5 億円																																																															
事業期間	採択予定年度	2021 年度	着工予定年度	2021 年度	完成予定年度	2031 年度																																																													
事業内容	・電線共同溝整備 L=1.36 km(整備延長)																																																																		
II 評価																																																																			
①事業の必要性	1) 必要性	第 1 次緊急輸送道路に指定されている一般国道 248 号で、地震や暴風等の発生により電柱が倒壊し通行が不能になると、緊急物資の輸送等に大きな影響が生じる恐れがあるため、無電柱化の推進が必要である。																																																																	
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>第 1 次緊急輸送道路の防災機能強化のため、事業実施が必要である。</p>																																																																
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工種区分</td> <td>測量・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">4.1</td> <td colspan="4">6.4</td> <td colspan="2">1.3</td> <td>11.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	合計	工種区分	測量・設計	←→												工事			←→								→		事業費（億円）		4.1			6.4				1.3		11.8	
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	合計																																																					
	工種区分	測量・設計	←→																																																																
		工事			←→								→																																																						
事業費（億円）		4.1			6.4				1.3		11.8																																																								
2) 地元の合意形成	現道内での整備であり、地域の防災性向上につながる事業であるため、地元の合意形成は円滑に図ることができると考えられる。																																																																		
判定	A	<p>A：事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B：事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】</p> <p>円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性が期待できる。</p>																																																																	

Ⅲ 対応方針

事業実施が
妥当である

事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。
事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。

Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

【主な評価内容】

・ 防災上の支障となる要素の解消